

## キトラ古墳及び高松塚古墳の整備活用について

## 古墳壁画PT保存整備班

## 1) 整備後墳丘の維持管理

## ・キトラ古墳墳丘法面植栽の経過観察

昨年度、墳丘法面保護のため、下段に芝張りを施し、上段にササを補植した。その後の生育状況について経過観察を行う。



補植直後（平成 31 年 3 月）



令和元年 5 月 3 日時点

## 2) 墳丘現地の活用

整備後の墳丘の活用のあり方について検討を進める。昨年度に引き続き、下記「キトラ古墳遺跡見学・乾拓体験会」を活用のケーススタディとして実施する。

## ・キトラ古墳遺跡見学・乾拓体験会

奈文研、国営飛鳥歴史公園（国営飛鳥歴史公園事務所＋公園財団飛鳥管理センター）共催で実施する。今年度は、年間 4 回（1 回につき、午前・午後 2 ターン）、事前予約・当日参加受付を合わせて 1 ターンごと定員 10 名で実施する。実施時期、方法については、公園側と協議の上、効果的に行うことができるよう、検討し実施する。

【令和元年度実施実績】 6 月 7 日（金）担当：高橋 AM 8 人 PM 5 人

## 3) 保存整備・活用に関する情報収集

高松塚古墳の今後の整備等に参考となる事例について、情報収集を行う。また、キトラ古墳については、上記の内容に加え、整備後の維持管理および遺跡の活用に関する情報収集を行う。